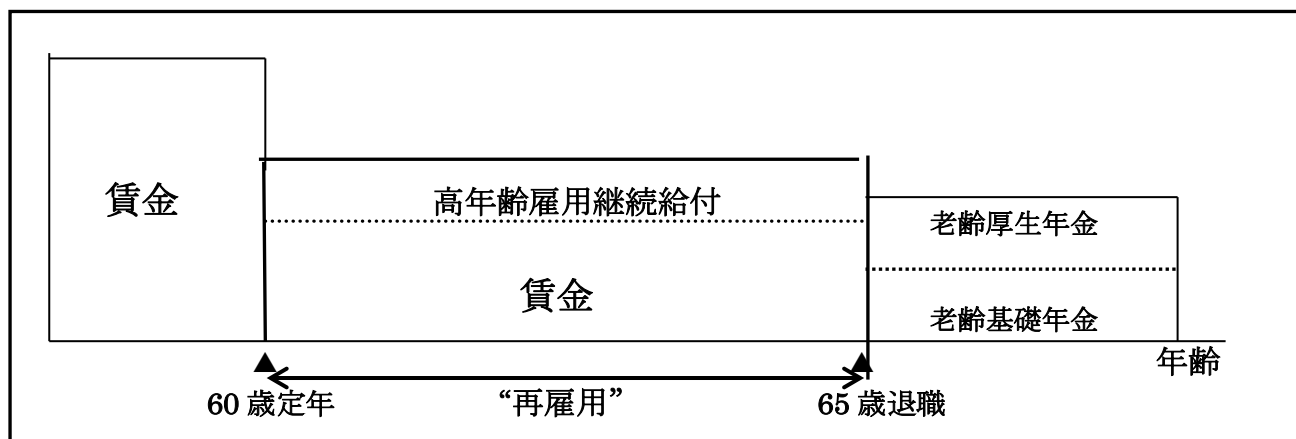
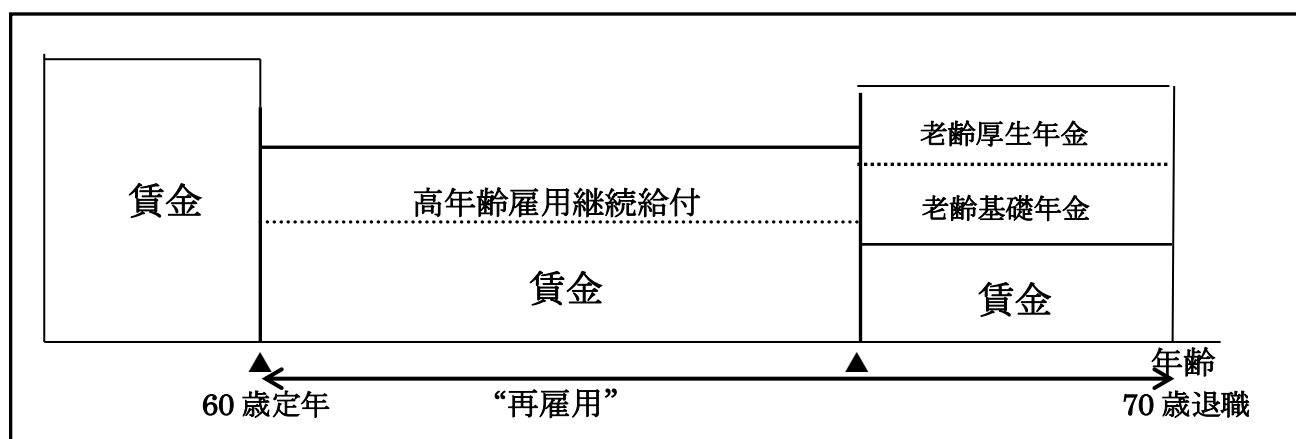


## 60歳以降の賃金、年金、高年齢雇用継続給付イメージ



65歳退職イメージ



70歳退職イメージ

## 在職老齢年金

### Point!

- ① 働いているなら（＝社会保険に加入しているなら）年金がカットされる場合がある
- ② 賞与が在職老齢年金に影響を及ぼす！
- ③ 年金を全くカットされないパターンあり

**総報酬月額相当額+基本月額 ≤ 51万円 停止なし**

総報酬月額相当額＝標準報酬月額＋ $\frac{\text{その月以前1年間の標準賞与額の総額}}{12\text{ヶ月}}$

基本月額＝老齢厚生年月額（経過的加算および加給年金は含まず）

### 【在職老齢年金の計算方法】

- ・総報酬月額相当額+基本月額 ≤ 51万円 停止なし（全額支給）
- ・総報酬月額相当額+基本月額 > 51円の場合、下記の表に当てはめる。

（基本月額＋総報酬月額相当額－51万円）÷2が、支給停止

＊ 老齢基礎年金および経過的加算額は、全額支給

＊ 70歳以上の方も対象（70歳以降、厚生年金保険料負担はなし）

## 高年齢雇用継続給付

### 【概要】

60 歳を超えて雇用される場合、60 歳時の賃金より低下すると、その「低下した賃金」に対して一定率をかけた給付金が支給される。

高年齢雇用継続給付は、基本手当（失業手当）を受給したかどうかにより、2 種類に分かれる。

- ① 「高年齢者雇用継続基本給付金」：基本手当を受給していない場合
- ② 「高年齢再就職給付金」：基本手当支給算日数を 100 日以上残して、60 歳以後再就職した場合

### 【要件】

- ① 60 歳以上 65 歳未満の一般被保険者であること。
- ② 被保険者であった期間が 5 年以上あること
- ③ 支給対象月の賃金が(原則として)60 歳到達時の **75%未満**であること
- ④ 支給対象月の賃金が 3 7 6、7 5 0 円未満であること(R7.6 現在、毎年 8 月に変動)

### 【支給額】

支給額は最大、支給対象月の賃金の 10%\* (60 歳到達時賃金と比べて 64%以下の賃金となった場合)

\* 60 歳時点の賃金の 64%超 75%未満に低下した場合は、その低下率に応じて、各月の賃金の 10%相当額未満の額となる。

### 【計算例】

60 歳到達      400,000 円      支給対象月賃金      200,000 円

200,000 円 ÷ 400,000 円 = 50%      \* 60 歳到達時の **64%以下**

高年齢雇用継続給付 = 200,000 円 × 10% = 20,000 円      →      支給額 20,000 円 \* 非課税

### 【受給期間】

以下表の通り。ただし、60 歳時点において、雇用保険に加入していた期間が 5 年に満たない場合は、雇用保険に加入していた期間が 5 年となるに至った月から、支給対象期間となる。

	支給期間
高年齢者雇用継続基本給付金	60 歳に達した月から 65 歳に達する月まで
高年齢再就職給付金	基本手当の残日数が、100 日以上 200 日未満の場合は 1 年間
	基本手当の残日数が、200 日以上の場合は 2 年間

\* 65 歳に達する月が限度